



第13回気候変動適応九州・沖縄広域協議会
令和7年2月25日（火）

国立環境研究所からの情報提供

国立環境研究所 気候変動適応センター
浅野絵美



本日の話題提供

1. 気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT） 追加コンテンツ



2. 各専門分野に関連する公開講演資料等



令和6年度 気候変動適応の研究会 研究発表会・分科会
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/archive/report/2024/1217.html>

3. 事業者の方向け気候変動適応情報





NEW

気候変動の影響とその適応策に関する写真の提供を開始しました。

1. A-PLAT追加コンテンツ：写真素材データベース

- 気候変動の影響やその適応策等についての写真の提供開始
- CC BY-NC-ND 4.0（出典明記・非営利・改変禁止）にてご利用可能（使用許諾不要）

農業・林業・水産業



水環境・水資源



自然生態系



自然災害・沿岸域



健康



産業・経済活動



国民生活・都市生活





NEW

気候変動の影響とその適応に関する写真の提供を開始しました。



1. A-PLAT追加コンテンツ：写真素材データベース（続き）

水稲



分けつ期の水稲



登熟期の水稲



登熟期の水稲



米（粒粒）

麦、大豆、飼料作物等



登熟期の小麦



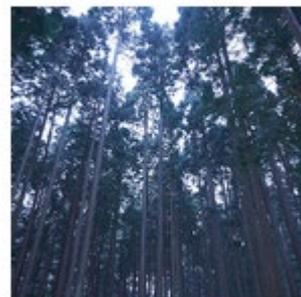
収穫期の小麦

畜産



鶏

林業



スギ人工林

水産業



トラウトサーモンの海面養殖



トラウトサーモンの海面養殖



トラウトサーモンの海面養殖



海面養殖

写真をクリック

撮影日	2019年10月31日
撮影場所	茨城県月見町
撮影者	増富 祐司
該当分野	農業・林業・水産業 農業 水稲
出典の記載方法	「気候変動適応情報プラットフォーム」あるいは「A-PLAT」
ファイルサイズ	887KB

ダウンロード

JPEG形式でダウンロードされる



1.A-PLAT追加コンテンツ：地域気候変動適応センター業務ガイドブック

第1章で気候変動影響評価・適応小委員会「気候変動適応法施行後5年の施行状況に関する検討 中間取りまとめ」や「法制度上の位置づけ」を確認



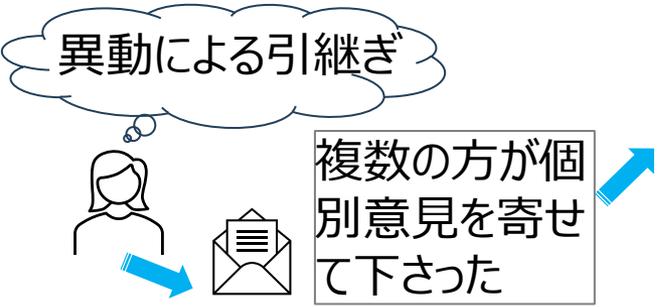
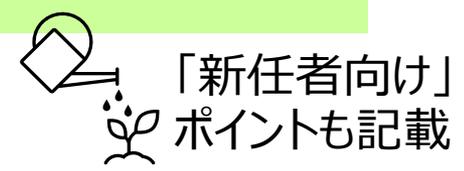
第2章 基本的考え方

「LCCACの中長期的なあり方の方向性」
「LCCACに期待される機能の考え方」 を整理



第3章 業務例

⇒機能別に実際の業務を記載



「別冊資料 導入編」の作成

⇒各機能の業務を行う場合のファーストステップを記載

本日の話題提供

1. 気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT） 追加コンテンツ



2. 各専門分野に関連する公開講演資料等



令和6年度 気候変動適応の研究会 研究発表会・分科会
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/archive/report/2024/1217.html>

3. 事業者の方向け気候変動適応情報



令和6年度 気候変動適応の研究会 研究発表会・分科会

- 「[気候変動適応に関する研究機関連絡会議](#)」のもと、地域での気候変動適応の実践（社会実装）に向けて、研究者・実務者等が具体的な連携を模索することを目標に活動
- 最新の研究動向に係る情報交換や連携に向けた意見交換を行うための発表会・分科会を開催

S18 「適応の会」
2024年12月17日

農研機構 NARO

R6気候変動適応の研究会

S18 **A-PLAT**
気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

2024/12/17

温暖化レベルに伴う影響度・適応効果の定量的評価（主に農作物を対象として）
(環境推進費S-18-2(1): JPMEEF20S11806)

- 研究代表機関：農業・食品産業技術総合研究機構
- デモリーダー・サプリーダー 長谷川利弘 (*西森基貴：本日発表)
- 研究実施期間：R2~R6年度
- 研究分担機関：京都大学、岐阜県農業技術センター、鹿児島県農業開発総合センター

謝辞：本発表の一部は、JST共創の場形成支援プログラム JPMJPF2013の支援による

森林生態系、林業分野における気候変動影響予測および適応策の動向



(国研) 森林総合研究所 関西支所 森林生態研究グループ
中尾 勝洋

S18 気候変動影響予測・適応評価の総合的研究

水産分野における気候変動影響の地域差と適応策

- 1) サンマの将来予測_海域別の漁期予測
- 2) 底びき網対象の漁業資源の変化と将来予測
- 3) ワカメ養殖の将来予測と適応策の評価
- 4) 藻場の変化とアワビ漁業への影響予測と適応策

*以上の結果もとにした温暖化レベルによる取り纏め

FRA 水産研究・教育機構 水産資源研究所
木所英昭

2024年12月17日@令和6年度 気候変動適応の研究会

都市・時間別の暑熱環境予測に基づく将来のスポーツ活動における適応策の検討

大山 剛弘
国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応センター

温熱シミュレータによる暑さ対策の評価

建築研究所 足永靖信

2024.12.17
令和6年度 気候変動適応の研究会 勉強会・分科会

全国の海草・海藻藻場の分布・CO₂吸収量の推定

茂木博匡¹
須藤健二², 柳田圭佳³, 菊田将平³
堀正和², 桑江朝比呂¹

FRA **PARI** **SAT**

¹港湾空港技術研究所, ²(国研)水産研究教育機構
³株式会社サイエンスアンドテクノロジー

令和6年度 地域の気候変動適応推進に向けた意見交換会

地域気候変動適応センターやセンター設置に取り組む自治体の皆様にお集まりいただき、地域の適応の取組事例や課題等を共有しつつ、地域気候変動適応センターの中長期的なあり方について議論

午前：講演

久喜市高校生環境ワークショップ
～埼玉県版気候変動ミステリーカードの活用～

久喜市気候変動適応センター

OCCAC の取組み

普及啓発
～（環境学習・環境教育）編～

OCCAC 久保崎 範行

富山県気候変動適応センターの
地域と進める適応の取組み

富山県気候変動適応センター

長崎県気候変動適応センターの取組み
（関係機関との連携）

長崎県環境保健研究センター
（長崎県気候変動適応センター）

企画・環境科 船越 翠希

2024年12月18日

午後：グループディスカッション

「LCCACとして注力して取り組みたい機能」ごとにグループに分かれ、「中長期的にLCCACとして目指すべきゴール」等について意見交換

- 「普及啓発・環境教育」機能で45名7グループ
- 「分析・調査・研究」機能で15名2グループ
- 「施策支援」機能で6名1グループ
- 「ステークホルダー連携」で7名1グループ

ワークシート

(1) 担う機能

(2) ★中長期的業務のゴール★

理由：

(3) 注力して取り組む分野

(4) 現在行っている業務

(5) 目指すべき姿に対して不足していること

(6) これから行動すること

①先1年行動すること

②中長期的に行動すること

フェーズ1 → フェーズ2 → フェーズ3
年 年 年

■現在行っている業務
（うまくいっている点、苦労している点）

■他のLCCACに関きたいこと、もらいたい意見

■LCCAC業務ガイドブックに関する意見

所属
氏名

環境研究総合推進費2G-2201（2022～2024年度）シンポジウム

「地域の適応実装を支える適応策立案支援システムの課題と展望」

- 国立環境研究所、農業・食品産業技術総合研究機構、東京都立大学による共同研究プロジェクトでは、科学的情報に基づき、地域の担当者が自ら適応策を選択して実装する際の意思決定支援ツールの開発に取り組んでいる
- プロジェクト3年目（最終年度）となる今回のシンポジウムでは、研究の進捗を報告するとともに、研究成果の具体的な活用についての意見交換を行う

時間	プログラム	登壇者 ※敬称略
10:00-10:10	開会（挨拶、趣旨説明）	国立環境研究所 気候変動適応センター センター長 脇岡 靖明
10:10-10:25	サブテーマ1 「科学的知見に基づく地域特性を考慮した気候変動適応策立案支援システムの開発」	国立環境研究所 気候変動適応センター センター長 脇岡 靖明
10:25-10:40	サブテーマ2 「適応のための地域別の最適作物と環境負荷の評価」	農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境 研究部門 上級研究員 櫻井 玄氏
10:40-10:55	サブテーマ3 「気候変動下における生態系を活用した防災・減災の効果検証および地域の実情に合わせた適応的 防災プランの提示」	東京都立大学 都市環境科学研究科 准教授 大澤 剛士氏
10:55-11:00	休憩	
11:00-12:00	パネルディスカッション 「地域の適応実装を支える適応策立案支援システムの課題と展望」	<ファシリテーター> 国立環境研究所 気候変動適応センター センター長 脇岡 靖明
		<パネリスト> 登壇者2名ほか
12:00	閉会挨拶	国立環境研究所 気候変動適応センター

令和6年度 気候変動適応セミナー

旬のトピック、時事的な話題等を形式にとらわれず機動的かつ広く共有するためにセミナーを開催

第1回「熱中症対策」



環境省

熱中症に関する取組

令和6年7月22日

環境省大臣官房環境保健部
企画課 熱中症対策室

令和6年度 第1回気候変動適応セミナー
「熱中症対策」2024.07.22

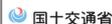
静岡県気候変動適応センターの
暑熱・熱中症対策に関する
取組の紹介

静岡県環境衛生科学研究所 環境科学部
【静岡県気候変動適応センター】
神谷 貴文

第2回「気候変動を踏まえた土砂災害対策」

気候変動を踏まえた砂防技術検討会
令和5年度版とりまとめについて

国土交通省 水管理・国土保全局
砂防部 砂防計画課
課長補佐 後藤 健
令和6年9月11日



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

気候変動の影響下での
土砂災害の特徴と対策

京都大学名誉教授
藤田 正治

第3回「港湾における気候変動適応策」

『協働防護』による
港湾における気候変動への適応

～港湾における防災・減災対策について～

国土交通省 港湾局 海岸・防災課
海岸・防災企画調整官
小山 真人



令和6年度 第3回 気候変動適応セミナー
「港湾における気候変動適応策」

日時：令和6年11月15日(金) 13時00分～15時00分
場所：オンライン(zoomウェビナー)

港湾における
気候変動の影響評価と適応策

国土交通省 国土技術政策総合研究所
港湾・沿岸海洋研究部
港湾・沿岸防災研究室長 本多 和彦

第4回「米の将来予測と対策」

地球温暖化が水稻品質に及ぼす影響と適応策

令和6年度 第4回気候変動適応セミナー「米の将来予測と対策」
2025年1月21日@Online

増富祐司

国立環境研究所 気候変動適応センター

気候変動適応セミナー



新潟県

気候変動リスクに対応した
新潟米の技術対策

令和7年1月21日
新潟県農林水産部農産園芸課

本日の話題提供

1. 気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT） 追加コンテンツ



2. 各専門分野に関連する公開講演資料等



令和6年度 気候変動適応の研究会 研究発表会・分科会
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/archive/report/2024/1217.html>

3. 事業者の方向け気候変動適応情報



気候変動リスク分析情報サイト

物理的リスクに関する開示動向や分析手法及び対応策の開示事例に加え、事業インパクト評価（シナリオ分析）にご活用いただける分析ツールやデータなどを紹介



業種別開示トレンド

業種ごとの物理的リスク開示傾向を知りたい

気候変動による物理的リスクの評価・分析及び対応策に関する開示動向を紹介

開示動向 (268件) 業種 ▼ 物理的リスクの種類 ▼ リスク/機会 ▼ フリーワード検索 🔍



情報開示事例ナビ

分析手法や対応策の開示事例を確認したい

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に関する企業の開示事例を紹介

分析手法



SGホールディングス株式会社

業種： 運輸・物流
規模区分： TOPIX Mid400
TCFD賛同時期： 2019年

取組概要
気象庁気象研究部論文、NGFSパラメータ（将来の気温変化）を基に、局所的な豪雪の発生頻度増加による財務影響を算出

対応策



東急株式会社

業種： 運輸・物流
規模区分： TOPIX Mid400
TCFD賛同時期： 2020年

取組概要
集中豪雨等による浸水被害や鉄道脇の斜面崩れに対し、列車運行への影響を防ぐための浸水対策や土砂災害対策を実施



シナリオ分析に活用できる情報

分析ツールや論文を確認したい

気候変動による物理的リスクを評価する際に活用いただける分析ツールやデータ、論文等を紹介

シナリオ分析に活用できる情報 (96件)

物理的リスクの種類 ▼ 参照シナリオ ▼ 領域 ▼ 対象期間 ▼ フリーワード検索 🔍

気候変動リスク産官学連携ネットワーク

気候予測及び気候変動影響予測情報の活用や気候変動適応の促進を目指し、主に気候変動及び影響の予測やTCFD等のコンサルティングサービスを行っている企業との意見交換・協働の場として「気候変動リスク産官学連携ネットワーク」を設置

主催：環境省、文部科学省、国土交通省、金融庁、国立環境研究所

シンポジウムの開催 (2024年度)

2024/11/27 開催 (Web)

テーマ：サステナビリティ情報開示における気候関連データの活用と『リスクと機会』への実践

申込者：917名

気候変動に関する企業の情報開示の最新動向

気候変動リスク産官学連携ネットワーク公開シンポジウム
「サステナビリティ情報開示における気候関連データの活用と『リスクと機会』への実践」

2024年11月27日

高村ゆかり (東京大学)

Yukari TAKAMURA (The University of Tokyo)

セミナーの開催 (2024年度)

【6月21日】グリーンボンド等のグリーンファイナンス市場のトレンドと環境省の施策 (講師：文部科学省 久芳全晴 氏)

【9月20日】「協働防護」による港湾の気候変動適応 (国土交通省 小山真人 氏)

【1月24日】“気候変動適応”に向けた未来社会デザインと事業創造プラットフォーム (講師：名古屋大学 木下祐輔 氏)

気候変動適応の実現に向け気候リスク分析/洪水予報ソリューションを提供- 取り組み事例紹介

(株式会社Gaia Vision 北祐樹 氏/出本哲氏)

ご清聴ありがとうございました

「A-PLAT」をぜひご利用ください

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/>

- 気候変動の影響・適応に関する情報基盤。自治体、事業者、個人の取組を支援。
- 気候変動や適応の解説、適応事例紹介、インタビュー記事、適応ビジネスに関する情報など
- SNS (X(旧Twitter), Facebook, Instagram) 、YouTubeでの情報発信



国立研究開発法人 国立環境研究所

本文へ | A-PLATについて | データ・資料 | 情報アーカイブ | お問い合わせ | JPI|EN | 🔍

🌐 気候変動と適応

🏠 国の取組

🌿 地域の適応

🏢 事業者の適応

👤 個人の適応

